

正力コミュニティ通信

令和8年3月正力コミュニティ

暦の上では2月4日（立春）が過ぎていますが、2月8日には大雪が正力にも降りましたが、毎日寒い日が続いておりますが、お元気に過ごされていますか？

3月3日はお雛祭り、春はもうそこまで来ています。第1号のコミュニティ通信を見て頂きましたか？第2号の通信を作成しましたので、楽しんで見て頂き活動に興味関心を持っていただけると大変うれしいです。



令和7年度1年を終えて

正力コミュニティ振興協議会会長 重光 秋治

令和7年度のコミュニティは4月の総会でスタート致しました。地域の方々にはご多用の中、多数の参加を頂きありがとうございました。様々なご意見を頂いた中で資源回収に関して「月の担当がそれぞれ決まっているが、参加しているメンバーはいつも一緒なのではないか」といった内容でした。これに関しては役員等で声掛けやゴミステーションへの張り紙などをして参りましたが、この1年では変化がありませんでした。また、月によって回収の量の変動するため、担当団体に入る収入の差が出ています。これを解消するための策を現在検討しております。呼びかけは継続して行う予定です。

次に夏まつりですが、去年は雨天となり急きょ会場のレイアウトを変更して対応致しました。足元が悪い中でもたくさんのお客さんに足を運んでいただき無事に行事を終了することが出来ました。

屋台出店に関して「手づくりの夏まつり」がこの正力地域の良いところなので「お互いに協力し合って出店してゆこう」という皆さんの意向で、から揚げ、焼きそば、焼き鳥など全11テントの出店となりました。地域の高齢化が進み、屋台出店に名乗りを挙げて下さる方が少ない中で、それぞれの担当者が工夫を凝らして出店にこぎつけて頂きました。地域の皆さんに支えられての夏まつりは、この正力地域の宝物です。

次に青空市を交流会と同時開催にしましたが、趣旨がそれぞれ異なるため出店者の方々にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。

以上、主だった行事について概要・課題等について述べさせていただきましたが、今後に向けて前向きに取り組んでいきたいと考えております。

この正力地区は観光資源等がなく派手さはありませんが、静かで平和な日常がゆっくりと過ぎてゆく暮らしやすいまちです。この地を守って行くため、皆さんとともに地域のコミュニティ作りに取り組んで参ります。

正力の自慢出来る事

コミュニティ副会長 小林 幹男

私は栃木県出身で、知り合いもいないこの正力に住んでから37年が過ぎようとしています。副会長をするようになって20年以上の月日が流れました。様々なイベントを通してたくさんの仲間・友達が出来ました。これが私にとって何より正力に住んでの自慢できることです。これからも様々な方と知り合いになりたいです。自分のコミ力を活かして楽しく活動をしていきたいです。皆様のご協力・ご参加をお待ちしています。



楽しんで挑戦している事 正力地域支え合い活動の紹介 あるもんで食堂代表 石井 佳澄

私達は、『お互い様』の心で、支え・支えられる関係や仕組み作りが必要と感じ、令和5年10月、皆さんとゆっくり昼食を取り、おしゃべりをしてもらう『地域食堂』を年4回 正力集会所で行っています

最初は、100円ランチ材料も持ち寄りでお粗末なランチでしたが、皆さんよろこんで下さいました。➡

令和6年～東広島市社会福祉協議会から補助金と多くの団体からの食材提供で、今は豪華な？ランチが提供できるようになりましたが、物価高騰200円ランチにさせて頂きました。



スタッフ8人で、前日から買出し・下ごしらえ・会場準備など大忙しですが、楽しくやっています

当日は、正力地域の個人・多団体の協力があり、大変助かっています まだまだたくさんの方にランチ参加していただきたいです。

正力の自慢出来る事 長寿会会計 山本 信彦

早咲き梅の候、皆様には日頃から長寿会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

○行事内容 ・料理教室・交通安全教室・初盆法要・お誕生日会(コーヒーとケーキ付)・秋の日帰り旅行などを楽しく行いました。

私の正力自慢の並滝寺の温泉♨を再開してほしい事、川沿いが遊歩道になったら散策コースが出来て自然いっぱいの正力を益々楽しくなります。

私の自慢出来る事 コミュニティ監査 上森 國雄

桜台に住んでいます。67歳の現在でも献血を続けられている事です。血液センターからの依頼もあり、成分献血と全血献血で70歳まで500回達成を目指しています。5年後のコミュニティは今の役員の方々が70歳～80歳となるため、将来を担う若い役員の人材育成が急務と思います。

昨年秋の地域交流会の自治会対抗の綱引きは、地域の団結と助っ人の飛び入りで予想以上に盛り上がりました。来年度も是非楽しいイベントをしたいです。

自分の自慢出来る事

私の自慢、それは一度きりの人生を楽しむ!

成長をあきらめない(50歳からの挑戦で、資格取得は12以上)
心躍る趣味をさがし(35年ぶりに楽器を購入、ひっそり練習中)
育ててもらった地域への恩返し(団地自治会会長への挑戦!)

正力の自慢出来る事

並滝寺から南流し瀬戸内海へと注ぐ黒瀬川の源流、夏には蛍、神戸から下関を東西に繋ぐ山陽道(SIC)それらの交差点が私達の正力地区。生活を守る地域の取り組み、地域を支える児玉石油や岩井商店、これらすべてが私の自慢です。

正力団地自治会副会長 堤 雅夫



正力の自慢出来る事

正力団地自治会副会長 迫田 輝雄

正力地区には、多くの若い世代(30・40・50代)の方が多く住んでおられ、私達の世代からうまく引き継ぐ事が出来れば、今以上に正力地区が発展できると思いますので楽しみです。

正力今後5年~10年後について

実年友の会産業副部長 木村 秀明

生まれ育った実家に帰って5年半になります、自治会などの会合に参加させてもらって一番驚いたのは、この正力地区にはたくさんの部会という活動組織がある事です。

しかし各部会の役員(世話人)の方は2~3の部会の役員などを兼務しているようで、運営の大変さがわかりますが、このまま高齢化も伴い今後の運営することもままならないと思われる。出来れば今後裾のを広げて若い世代の方が参加出来るように対策検討が必要だと思います。今後は他地域で高齢化対策された自治会などがあれば話を聞いてみるのも一案だと思います。

5年後の正力コミュニティの活動について

コミュニティ監査 児玉 研

正力の宝は『資源ゴミの回収』です。この活動は約15年前、当時のコミュニティの役員の方々が中心になって始められたことです。ここまで長く続けられたポイントは、月初めの第1日曜日に実施されるというたゆまぬ努力と、協力者の熱心さがあります。この活動の良い所は、資源ゴミを出す人(個人及び企業、商店)、回収の世話をする方々が一体となって正力の輪を作り出す事と、正力各団体への補助金、市からの補助もあります。

この活動が良いと感じて回収の世話をしてくださる、老若男女様々な方がおられます。若い人の参加も少しずつ増えてきていると思います。【これからは若い人の時代です。】

又、『夏祭り』『青空市を通しての実年友の会の交流会への参加』など、これら3つの活動は、5年後と言わず末永く続けられます事を切に願っています。



子ども達も若い方も年配の方も一緒に楽しむ町正力を目指しています。



自分の自慢出来る事

正力団地自治会会長 窪田 雲竜

好奇心旺盛で、何事にも挑戦し積極的にコミュニケーションをとるのが得意です。仕事を活かして、夏祭りの時の舞台設置の準備など力を発揮させてもらっています。

正力の自慢出来る事

緑豊かで、団地内に公園があり、子育てしやすい環境です。気軽に使える集会所があり、イベントなどで住んでいる方々とのコミュニケーションを取る場所がある事が自慢できる事です。



正力の自慢出来る事 グリーンタウン自治会副会長 岩崎 晃宏

正力の自慢できることは何かと問われれば、私は迷わず「人と人とのつながり」だと答えます。この2年間、会議や打ち合わせ、行事の準備などで多くの時間を過ごしてきました。日程に追われることもあり、決して楽な事ばかりではありませんでした。しかし、もうすぐその役目が一区切りを迎えると思うと、なぜか少しさみしい気持ちになるのも事実です。今はどこか複雑な思いでいます。それはきっと、この活動を通じてたくさんの地域の方々と出会い、関わり合うことができたからだと思います。

祭りの準備や行事の運営には、多くの方々のご尽力がありました。忙しい中でも力を出し合い、声を掛け合いながら支え合う姿に、私は何度も心を動かされました。夏祭りの挨拶で、会長さんが「人と人との関わり合い、コミュニケーションが何より大切です。」と話されました。その言葉は今も私の心に残っています。そして今では、私自身も心からそう思えるようになりました。

便利さが優先され、地域でのつながりが薄くなりつつある現代だからこそ、正力のこの温かい関係性は誇れるものだと思います。そして、この大切な文化をこれからも次の世代へと引き継いでいってもらえたらと願っています。正力の自慢は、立派な建物でも制度でもなく、「正力の人」です。それこそが、私たちの何よりの誇りだと思います。

5年後の正力コミュニティに向けて

コミュニティ事務局 吉川 美里

会長の言葉にもありましたように、この1年、私たちは「伝統ある正力夏祭り」をはじめ、資源回収や青空市、交流会など、多くの行事を通じて地域の皆様の温かい支えを実感してまいりました。雨天の中でも全11テントが立ち並んだ夏祭りは、まさに私たちの「地域の宝物」です。これから5年後を見据えたとき、私はこの素晴らしく「手作りの温かさ」を絶やすことなく、次の世代へと繋いでいく架け橋になりたいと考えています。

今後の課題としては

資源回収への参加の輪をさらに広げ、誰もが「ちょっと手伝ってみようかな?」と気軽に参加できるような、風通しの良い仕組みを作っていく事が目標です。また、交流の場をより充実させ、正力を長く支えてこられた大先輩から、新しい仲間に加わって家族、そして未来を担う子ども達にまで、道ですれ違えば自然に挨拶を交わせるような「顔の見える関係」さらに深めて行きたいと願っています。正力には、お互いを思いやる豊かな暮らしがあります。5年後、「この街に住んでいて本当に良かった。」と誰もが笑顔で話せる、活気と安心感に満ちたコミュニティを、皆様と共に一歩ずつあゆみながら築いて行きたいです。

5年後の正力コミュニティの活動について

コミュニティ会長 重光 秋治

私は今年で後期高齢者になります。明日の日はどうなるのかは分からない日常です。体力的にも弱ってきているため、現在の任期が満了する時点で会長職の辞退を考えています。5年後は当然ながら、新しい会長さんか就任されていると思いますので、会長さんのもとの、生き生きとしたコミュニティ活動が繰り広げられることを期待しています。

自分の自慢出来る事

高齢になったので「脳トレ」のために「英語を学び直し」を続けています。英語勉強のアプリを使ったり、英語のYouTube動画の鑑賞、Reading等、毎日30分以上英語に触れるようにしています。かれこれ5年以上続けており、自分でも感心しています。目標は字幕無しで洋画が見れるようになる事です。

正力に住んでみて

コミュニティ副会長 竹野 智治

グリーンタウンの39班に居住しています竹野です。まずは、自己紹介です。出身は、広島市の草津です。五日市の大学を卒業し志和町の会社に入社して東広島市へ来ました。2010年に父の病のために両親の住む正力へ来ました。

翌年、行政区長をさせていただき、グリーンタウンの人すら数名の方しか知らないなかでしたが正力の皆さんに助けていただきながらつとめる事が出来ました。2年後役員は離任しましたが正力の皆さんに助けていただき「つながり」が出来ました。このつながりを継続したくその後も資源回収を継続して参加し、縁あってコミュニティへお誘いいただき今に至ります。正力の皆さんのあたたかいつながりが大好きです。

編集後記

コミュニティ会計 久保田 一江

皆様からお預かりした大切な会費を、正力の方々の為に使えるように日々考えてまいります。ご意見などがありましたら、色々聞かせていただき今後の活動が良くなるように試行錯誤を繰り返して行きたいと考えています。

コミュニティ通信第2号を作るのにあたって、文章依頼をすぐに受けて頂き、貴重な文章をたくさんいただいたことが私にとっては嬉しいと感じています。正力愛が深く、正力の為に日々努力しておられるなあと熱い気持ちをたくさん感じました。通信を読んでいただき、ご意見・ご感想をいただくと今後の頑張る励みになります。活字離れの昨今ではありますが、文章を考えて字に書いてみると脳が動いています。しっかり脳を動かして、元気に毎日を過ごしてください。

私は、正力に嫁に来て34年が経とうとしています。2人の子ども達も正力の地で子育てをしました。地域の方々に助けてもらって、様々な事を教えてもらいながらの子育てでした。子ども会の「資金がない」と考えて始めた、資源回収が現在もされていることも嬉しいです。それから子ども会の活動を共にしたパパ友、ママ友（一生の友）になっています。

20歳になった成人の子ども達がふるさと正力に帰って夏祭りの実行委員を行ったのも、親子で大切な思い出になっています。これからも正力の方々としっかりコミュニケーションを取りながら、老若男女どの年齢の方も「楽しい」「面白い」「住んで良かった」「正力が大好き」と思ってくれる方が一人でも増える事を願って地道に活動を進めて行きます。今後ともご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

